



2024年3月29日

各 位

会 社 名 株式会社テクノフレックス
代 表 者 名 代表取締役社長 前島 岳
(コード番号：3449 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役兼専務執行役員管理本部長 川上 展生
TEL. 03-5822-3211

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日付で関東財務局に提出いたしました2023年12月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社連結子会社において、複数年にわたり外注先との間で架空の取引等が発生している可能性が判明しました。これをうけ、当社は2024年2月5日付で特別調査委員会(外部の独立した第三者である弁護士及び公認会計士を含む)を設置して調査を開始し、2024年3月26日に同委員会より調査報告書を受領しました。その結果、当該連結子会社において、得意先及び外注先との間で架空の取引に係る代金の受領及び支払がなされていた事実が判明しました。

当該事実は、当社において、連結子会社に対する管理・監督が不十分だったことについて全社的な内部統制の不備があったこと、当該連結子会社においてコンプライアンス意識が欠如していることをはじめとした全社的な内部統制に不備があったこと、適切に作成・承認された証憑に基づき会計処理を行うことや、取引先等の状況及び取引内容に対するチェック機能の重要性を軽視している等の決算・財務報告プロセス、販売管理プロセス、工事管理プロセス及び購買管理プロセスに不備があったことによるものと判断いたしました。これらの内部統制の不備が財務報告に重要な影響を及ぼしており、開示すべき重要な不備に該当すると判断しました。

2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

上記事実は当連結会計年度末日後に発覚したため、当該不備を当連結会計年度末日までには是正することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社グループは、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、開示すべき重要な不備を是正するため、再発防止策を立案・実行し、当社グループにおける内部統制の適切な整備・運用を図ってまいります。

4. 連結財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、全て連結財務諸表に反映しております。

5. 連結財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見です。

以 上